

【悪魔】 今の政府は高校教育を実質的に無償化する、という公約を実行に移すようですね。子ども手当に比べると世間の賛成反対があまり分かれていないようですけど、何も問題はないんですか？

【天使】 中学校を卒業した大半の生徒が高校に進学するわが国の現状において、保護者の経済的負担減をもたらす政策は、それだけ取り出せば一般論としては望ましいものと言えるだろう。しかしながら、より厳密に考えてみると、どのような制度を採用するかによつては、国民の間で不平等が生ずる可能性もないとは言えないし、また、そもそも優先的に実施すべき政策であるかどうか自体についても、検討の余地がないわけではない。

【悪魔】 もう少し具体的に、というより、もつと分かりやすく言っていた方が私にも読者にもありがたいんですが。

【天使】 国民間の平等の問題について言えば、国公立学校と私立学校との取り扱いをどのようにするべきかが第一に問題となる。現実的には、国公立学校の授業料相当分を私立学校についても減額する方法が採られるものと予測される

悪魔と天使の 法学入門

筑波大学准教授 星野 豊

第37話

高校教育の無償化

が、これでは国公立学校と私立学校との間で実質的に生じていると言われる種々の格差を、ある意味で拡大することになりかねない。また、高校教育で各家庭が負担している費用は、授業料ばかりではなく、通学のための交通費や各種の教材費等、様々なものがあるわけだが、これらの諸費用の存在を無視して授業料のみの「無償化」を実施したとしても、各家庭の負担にお相当のものが含まれている以上、どこまで実効的であるかも定かでない。他方、政策としての優先性の点について考えてみると、現在の学校は、教職員についても設備についても課題が山積していると言つて差し支えなく、教育の充実という観点からすれば、高校教育を無償化して現在よりもさらに高校への進学を容易にすることよりも、むしろ教育環境の整備に必要な予算を重点的に配分することの方が、より優先されるべきであるとの考え方も成り立ちうる。

【悪魔】 一つお尋ねしてよろしいですか？

今のお話は、中学を卒業した子どもの大半が、すぐに高校に進学していくことが前提になっていますよね。ご指摘になつていた問題点とやらも、その前提から生じてくるものですよね。で

も、無償化することと、すべての子どもが高校に進学することとは、直接結び付かないんじゃないでしょうか？むしろ、高校に進学できる子どもの数を絞って、社会のために活躍してくれる人を育てるために、社会全体が必要な費用を出す、という方が、制度としてまともなように思うんですけど。

【天使】 そのような発想であれば、優秀な生徒に十分な額の奨学金を支給すれば足りる話だから、現行制度の枠組みを変える必要自体がそもそもないこととなる。ただ、その方法は、奨学金を支給される生徒と支給されない生徒との格差を拡大させることにつながりうるし、生徒自身の成長を事前に考慮して配分を決定することが困難である点で、現実の政策としては妥当でないと言えるだろう。

【悪魔】 おっしゃることが少しおかしくなってきましたね。子どもの将来性が不確実なんて当たり前の話で、そんなことを言い始めたら入学試験で不合格を出すことだってできなくなるでしょう？予算が無制限にあるわけじゃないんですから、すべての子どもを無償で高校に通わせる必要自体がそもそもあるのか、という考



え方は、なぜ生じてこないんですか？

【天使】 現代のわが国では、かつてのような強固な学歴社会が崩壊しつつあるとは言っても、進学率が高いことが国全体の文化水準や経済発展に貢献していることは間違いない。その意味では、高校進学者が全国的に増加しつつある状況の中では目立たなくなっているとは言っても、高校教育の経済的負担は各家庭に相当なものとして及んでいるのが実情だから、負担感を減らすという点で見れば、授業料が無償化されることの社会的意味は、かなり大きなものと言えるのではなからうか。

【悪魔】 全然賛成できませんね。学校というのは、卒業したことそれ自体が大事なわけじゃなくて、通っている間に多くの人に会って、学んだり考えたりすることに意味があるはずですよ。無償化によって経済的に苦しい家庭の子どもが高校進学という選択肢を持てるのは確かですけど、「何となく」の進学が今以上に増えたら、その悪影響の方が大きいんじゃないでしょうか？ どうも少子化のせいで、学校も社会も、お子様たちを選抜する気がなくなっているところ、一番の問題のような気がしますけどね。